

# 研究成果情報

令和3年度

ハナハスの切り花品質を保持するための出荷前保管条件		
[要約] <u>ハナハス切り花</u> において、10℃での <u>湿式保管</u> や5～10℃での <u>乾式保管</u> により、観賞時の <u>切り花品質</u> や <u>日持ち日数</u> に影響せず4日程度保管ができる。		
新潟県農業総合研究所園芸研究センター 環境・施設科	連絡先	TEL 0254-27-5555 FAX 0254-27-2659

## [背景・ねらい]

ハナハスは、遊休水田を活用できることや水稻との作業競合も少ないため、作付面積が増加傾向にあるが、需要期が盆に限定されるため収穫可能期間が短く、このことが生産拡大の阻害要因となっている。そのため、収穫期間の延長に向け、収穫後に一時的に保管できる技術の確立が求められている。そこで、保管条件が品質と日持ち日数に及ぼす影響を明らかとする。

## [内容]

### 1 湿式保管

- (1) 常温では、花蕾が緩んで着色が進み、保管4日後には花卉が乾燥により脱色する(図1)。
- (2) 10℃では、保管6日後であっても花蕾の状態は保管前と差はない(図1)。日持ち日数は4日保管までは保管なしと同等であるが、6日保管では短くなる(図2)。

### 2 乾式保管

- (1) 12℃保管では、5℃や8℃保管と比較して保管中における切り花重の低下程度が大きく、花蕾が緩んで着色が進行する。(図1、3)。
- (2) 保管温度は、5℃と10℃で日持ち日数に差はなく、4日程度の保管が可能である(図4)。
- (3) 出荷時の花蕾部包装資材は、鮮度保持シートとハスの葉で日持ち日数に差はない(図4)。

## [導入効果]

収穫期間が延長され、出荷量が増加する。

## [導入対象]

ハナハス切り花の生産者および栽培指導者

## [留意点]

- 1 湿式保管は切り花長を90 cmに調整して水道水(水深50 cm)に浸けて保管し、乾式保管は出荷時の状態に調整して出荷用段ボールに入れて保管した。
- 2 鮮度保持シートはエチレングス吸着機能を有するN社製のものを使用した。
- 3 観賞時の日持ち日数は、保管後の流通シミュレーション(8℃で2日間)を経て、20℃・相対湿度60%・12時間日長の室内で蒸溜水に生け、花卉が黒変または褐変した日までの日数とした。

[具体的データ]



採花時 湿式:常温(27~32°C) 4日間 湿式:10°C 6日間 乾式:5°C 5日間 乾式:10°C 5日間

図1 保管条件が花蕾の状態に及ぼす影響

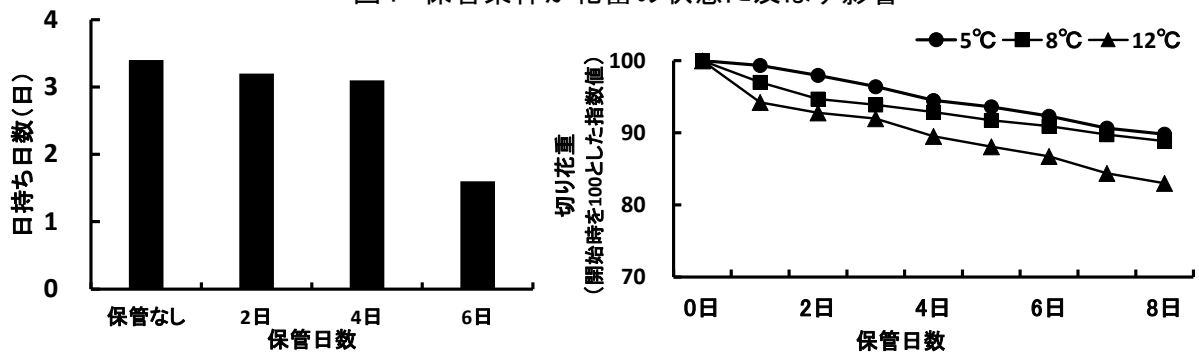


図2 湿式保管における保管日数が日持ち日数に及ぼす影響

注 平成30年7月19日収穫、10°C保管。

図3 乾式保管における保管温度が保管中の切り花重に及ぼす影響

注 平成30年8月17日収穫。

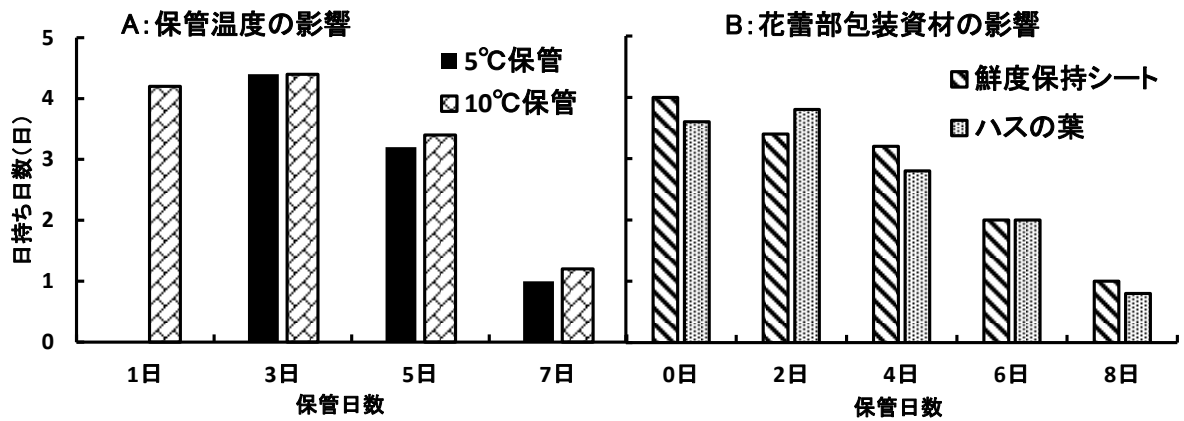


図4 乾式保管における保管条件が日持ち日数に及ぼす影響

注1 A: 令和2年7月21日収穫、花蕾部は鮮度保持包装資材で包装。

注2 B: 令和元年7月17日収穫、10°C保管。

[その他]

研究課題名: 花き生産を支援する生産・流通技術の開発

予算区分: 1 県単経常

2 外部資金(新潟県花き振興協議会事業)

研究期間: 平成30~令和2年度

発表論文等: 園芸学会北陸支部大会(平成30年12月)